

魅力いっぱい！中央区再発見

中島公園

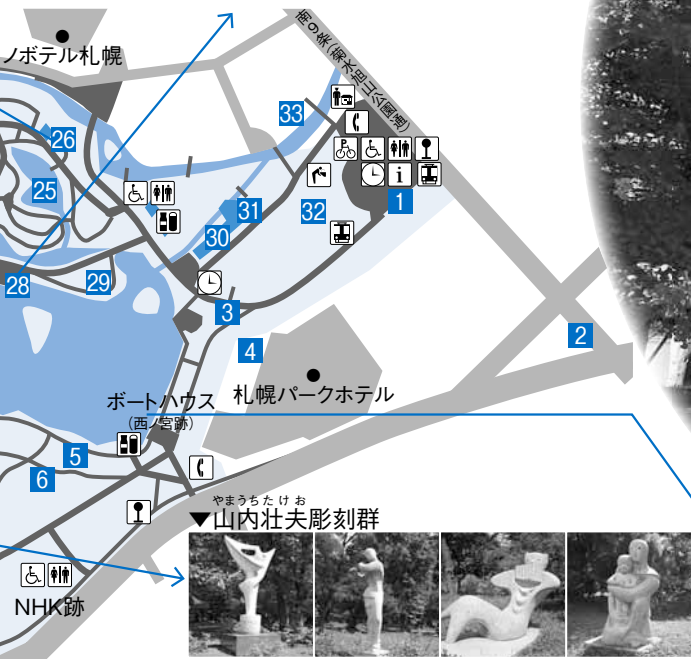
中島公園は札幌の中心部に位置する緑豊かな公園です。「菖蒲池」の水辺や、「豊平館」「八窓庵」といった国の重要文化財、札幌コンサートホール「Kitara」や「天文台」などの見どころが点在し、散策するにはぴったりの場所です。

4月に入り、少しずつ春の息吹が感じられ始めた中島公園を散策してみませんか？

【問い合わせ先】

中島公園管理事務所
☎(511)3924

▼フジのトンネル。5～6月には見事な花を咲かせ、来園者の目を楽しませてくれます



ボート乗り場へGO！



中島公園と言えばボート乗り場を思い浮かべる人も多いはず。休日や夏休み、お祭りの時期はカップルや家族連れでにぎわいます。

- 営業期間 4月下旬～10月中旬。
- 料金 1艘40分、600円。
- 営業時間 9時～17時。

ボート貸出は16時20分まで。
※営業期間、時間について状況により変更することがあります。

- 詳細 中島観光 ☎521-1019

歴史探訪

中島公園は、豊平川の流れによって生まれた地形がその由来になっています。鴨々川と本流に挟まれた地域を、明治初めには鴨々川中島と呼び、本流の対岸の中島（のちの中島）と区別されていました。当時は上流から流送される木材を溜めておく貯木池があり、施工に当たった人物の名を取って元右衛門堀と呼ばれていました。元右衛門堀はその後、菖蒲池として整備されています。

1887年（明治20年）に中島遊園地として整備され、札幌の娯楽の中心となりました。また、競馬場もこの地に移設され札幌競馬が開催されるようになりました。花を楽しめる岡田花園などの料亭もでき、高級料理を堪能できる場としても人気を集めました。

1910年（明治43年）には中島遊園地から中島公園へ改称され、その後の1918年（大正7年）の開道50年記念北海道博覧会では迎賓館や農業館などのパビリオンが建設され、道外からも多くの人が観覧に訪れたそうです。

終戦後の1958年（昭和33年）、北海道大博覧会に合わせ「子供の国」が整備されると、子供の国はその後の中島公園の顔として定着していきます。豊平館が移設されたのもこの時期です。

「プロレスの殿堂」ともいわれた中島スポーツセンターでは、大相撲札幌場所やサカスなどの興行が行われ、中島球場における野球大会、中島プールなども多くの人でにぎわいましたが、その後の街の変遷とともにその役割を終えていきました。現在はKitaraや北海道文学館が整備されるなど、札幌の文化シーンに欠かせない空間になっています。



迎賓館（札幌市公文書館所蔵）

- 凡例
- トイレ 身障者トイレ 水飲み場 時計
 - 公衆電話 レストラン 売店 案内板
 - 駐輪場 バス停 交番 地下鉄駅
- | | | |
|-----------|---------------------|-----------------|
| 並木 | 12 彌彦(伊夜日子)神社 | 23 豊平館 |
| 八郎顕彰碑 | 13 鴨々川 | 24 日本庭園 |
| く子等(碑像) | 14 札幌護国神社 | 25 シダレザクラ(枝垂桜) |
| クホテルの庭園 | 15 行啓通 | 26 八窓庵 |
| ワカエデ'舞孔雀 | 16 エゾヤナギ(公園一の老木) | 27 菖蒲池(元右衛門堀跡地) |
| 太郎像 | 17 白鶴橋 | 28 フジ |
| 夫彫刻群 | 18 不老の松の碑 | 29 四翁表功碑 |
| 立文学館 | 19 札幌コンサートホールKitara | 30 人形劇場こぐま座 |
| 場 | 20 相響(モニュメント) | 31 中島児童会館 |
| 公園一の太木 | 21 天文台(岡田山) | 32 森の歌像 |
| 夢(モニュメント) | 22 シダレウレウヤナギ(枝垂雲龍柳) | 33 水天宮 |
- ※改修工事のためKitaraは6月16日、豊平館は平成28年3月末(予定)まで休館